

- 「開港5都市景観まちづくり会議2010神戸大会」開催 (P.1)
- 絵画立体作品展「昭和の神戸と市内電車」を終えて ほか (P.2)
- 魚崎郷の町並みづくり (P.3)
- 図書紹介「懐かしの神戸市電特集」 ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

多様な個性・魅力・文化が共生するまちを目指して！

「開港5都市景観まちづくり会議 2010 神戸大会」開催(10/29~31)

1. 開港5都市景観まちづくり会議とは

開港5都市景観まちづくり会議は、1858(安政5)年の日米修好通商条約により国際貿易港として日本最初の開港地になった5都市(函館、新潟、横浜、長崎、神戸)のまちづくりや景観づくりに取り組む市民団体が集い、景観まちづくり活動等に関する意見交換や交流を目的に、平成5年より各都市で開催してきました。

今年は神戸での4巡目の開催となり、「共生のまちづくり～時間・空間・文化を超えて～」をテーマに、神戸で景観形成に取り組む12の市民団体が中心となって“おもてなしの心”溢れる企画で他都市の皆さんや神戸市民に「デザイン都市・神戸」の魅力を伝えるとともに、神戸のまちの新たな一面を発見し、まちの将来を一緒に考えました。

2. 「個性を活かし魅力を高める街づくり」

全体会議Ⅰでは、各都市の近況報告後、神戸市からのメッセージとして「デザイン都市・神戸」や景観形成市民団体の取り組みなどを紹介しました。また、田辺真人氏(園田学園女子大学名誉教授)より『「個性を活かし魅力を高める街づくり」～ 歴史や文化を活かした地域振興～』と題し、神戸のまちの風土や生活、歴史にまつわる基調講演が行なわれました。

3. 多様な文化を感じて (分科会参加者の声より)

分科会1「未来に継承する“開港の文化”」

北野の風見鶏の館や海外移住と文化の交流センター、旧神戸生糸検査所、旧居留地を巡りました。



神戸は、歴史的建造物を単に保存しているだけでなく、地域がうまく活用している事例が多く、生活感や温かみを感じました。ミニ講演では、往時の外国人たちの生活文化を感じ取り、神戸と外国人の交流が今の神戸を作っているのだと感じました。【神戸市50代女性 他】

分科会2「まち・まちの多様な文化～神戸市北区の農村文化と湯の文化～」

北区の茅葺古民家の「箱木千年家」、「下谷上農村歌舞伎舞台」、日本最古の温泉である「有馬温泉」を巡りました。都心からすぐ近



くに、古い歴史を持つ文化財、緑豊かな自然があることに驚かされました。神戸には「港町」などお洒落なイメージを持っていましたが、六甲山を越えると全く違う風景が広がっていて、トンネルの入口と出口の文化の違いが面白いと感じました。また、長田区の「鉄人28号」も見学しましたが、想像していたよりも実物は大きかったし、震災後のまちおこしに使う発想がユニークだと思います。【横浜市60代女性 他】

分科会3「みなと街「神戸」の原点へのアプローチ、雑居地の共生の文化に触れる。」

孫文記念館や、関帝廟を訪れ、元町商店街や神戸港震災メモリアルパーク、乙仲通をまち歩きしました。以前訪れたことがあるまちですが、タウンガイドの説明があると新しい発見がありました。自分たちのまちの身近な魅力について情報発信し、そのよさを知ってもらうことが大切だと改めて感じました。【函館市50代男性 他】



4. 2010神戸大会を終えて

最終日には、大会総括となる“大会アピール”として「均質化が進みつつある現代ではあるが、多様性の確保とそれらの連携の両視点から、豊かなまちづくりに向けての努力を各々の地で広範に展開していくこと」が宣言されました。これを契機に、まちの多様な個性に磨きをかけ、それらを連携・活用しながら「デザイン都市・神戸」、「まちづくり」や「景観づくり」に取り組んでいきます。

(実行委員会事務局 都市計画総局まちのデザイン室)

「みなとまつり音頭」にのせて“花電車”が煌く 絵画立体作品展「昭和の神戸と市内電車」を終えて

さる11月11日(木)から23日(火)まで『昭和の神戸と市内電車』をテーマに、まちづくり会館ギャラリー企画展「鈴木 城 絵画立体作品展」を開催しました。

神戸に電気軌道(市街電車)が開通した明治43年4月から数えて100周年、神戸市電が昭和46年に廃止されてから40年の節目にあたる今回の展覧会では、雪の日のポイント切替作業を描いた『転轍作業』(180号)や、須磨沖に沈められ漁礁として第2の人生?を歩んだ『魚の家』(100号)などの大作から小品まで、昭和30年代・40年代の神戸のまちなみを描いた作品を中心に52点の日本画などを展示したほか、震災前の姿をかたどった『ターミナル』(阪急東口)などの立体模型4点も飾られました。



“TEA ROOM & STREET CAR”と題したコーナーでは、三宮周辺などの喫茶店の中から描いた市電の走る外の風景と、外のまちの様子を「対」の作品で展示するなど、当時のまちのたたずまいや人々の表情を感じてもらおう工夫が凝らされていました。

特に今回の企画展に向けて制作していただいた『花電車』にはLED照明が施され、まばゆく光り輝くとと

もに、懐かしい「みなとまつり音頭」が流され、観客の皆さんが聞き惚れるといった、通常の絵画展とは一味もふた味も違う雰囲気になりました。



花電車

ご夫婦やグループで来場されたご高齢の皆さんは、当時の神戸のまちのたたずまいが克明に描かれた作品を見ながら、「良くここでお茶を飲んだネ」とか「待ち合わせはいつもこのあたりだったネ」などと楽しく語り合う光景が多く見られました。また、「市電には、当時姉が勤めており、とても懐かしかった」など、それぞれの自分史に思いを馳せるひと時を過ごされていました。鉄道ファンの方は、作品に見入りながら、鈴木氏と鉄道談義を始めるなど、会場は常に和気藹々の雰囲気に包まれていました。

6千人を超える来場者が訪れ大盛況のうちに閉幕した今回の企画展。皆さんから『懐かしかった』『是非こうした企画を継続して欲しい』などのご要望を数多くいただきました。まちづくり会館の設立趣旨に沿って、これからも神戸のまちづくりを考えていただく一助になる催しを企画していきたいと考えています。

「すまいるネット開設 10 周年記念イベント」開催！！

神戸市すまいるの安心支援センター“すまいるネット”は今年で開設10周年を迎えました。それを記念し、普段すまいるネットと接点のない人に広く知ってもらい、子どもから大人まで楽しめることを目的としたイベント(セミナー、すまいるの相談会、子供向けワークショップ)を10月30日にHDC神戸で開催しました。

スタジオでは、「ふじようちえん」や「屋根の家」で有名な建築家手塚貴晴氏やコミュニケーションの大切さをテーマとした横山由紀子氏の



セミナー

セミナー、すまいるネット相談員がパネリストとして参加し、すまいるネット相談窓口を紹介するシンポジウムなどを開催し、建築を専攻する学生を中心に多く

の参加者が訪れました。

地下の広場では、子どもの住育に関わっておられる建築士とボランティアの学生とともに、子ども達に実験などを通して、家の構造を学び、ダンボール等を使って家をつくることの楽しさを知ってもらうワークショップ(右の写真)をしました。参加者には概ね好評で、最後に「おうちデザイナー認定証」を授与し、景品をプレゼントしました。



ワークショップ

このイベントを通して知り合った方とのネットワークを大切に、これからのすまいるネットの新たな展開につなげていきたいと考えています。

(神戸市すまいるの安心支援センター“すまいるネット”)

魚崎郷の町並みづくり

空間像研究会の活動 その18(最終回)

山本 俊貞 (空間像研究会)

1. 江戸期からの歴史を引き継ぐ「酒蔵のまち」

魚崎郷とは、神戸市東部から西宮市西部にかけての臨海部に位置する全国有数の清酒生産地、灘五郷のうちの一つで、住吉川の川尻にあたります。

灘に酒造業が成立するのは江戸中期の享保年間のことです。以来この地の町並みは、第二次世界大戦の戦災によって大きな被害を受けるものの部分的には焼け残り、阪神・淡路大震災までは木造やレンガ造の古酒蔵が狭い路地をはさんで建つ独特の景観を形成していました。

2. 震災を機に気付いた“伝統的町並み”の大切さ

しかし阪神・淡路大震災では、10棟以上残されていた魚崎郷の古酒蔵は全てが崩壊するなど、壊滅的な被害を受けました。

そこで震災から1年ほどが経過した頃から、地元自治会と酒造業者をはじめとする企業が一緒になって、酒蔵のまちのあり方についての検討が始まります。震災によって古酒蔵がほぼ全滅し、これが高層住宅に建て替えられるという事態を目前にして、このまま工場と住宅が混在する無個性なまちになってしまっているのかという思いからです。第二次大戦時の罹災から免れた古酒蔵は、昭和40年代頃から四季醸造のできる積層近代蔵へといくつもが建て替えられ、また同時に大阪に近いという位置的条件の良さから、酒蔵の広い敷地はマンションにと転換されてきました。そしてそれに伴って、酒造業者と新規住民間の軋轢もありました。しかし震災を経験し、皆で大切にすべきまちの個性が再確認・共有されたといえます。

3. 「魚崎郷地区・景観形成市民協定」の締結

魚崎郷は、わが国を代表する酒造地域・灘五郷の一つとして、また住吉川河畔の良好な住宅地として、固有の文化をもつまちを形成してきました。しかし、阪神・淡路大震災によって、これまで地区のまちなみの特徴づけてきた古酒蔵をはじめとする伝統的建造物の多くが崩壊するなど、大きな被害を受けました。震災からのまちの復興を果すためには、先人が培ってきたこの地域の歴史の流れを断ち切ることなく、これを継承し、発展させる姿勢が重要であると考えます。魚崎郷に住み、働く者は、このまちを誇りをもって次代に引き継げるよう、まちなみづくりにあたっての共通の指針をお互いに確認し、ここに市民協定を締結します。

平成10年 7月13日

「魚崎郷地区・景観形成市民協定」前文

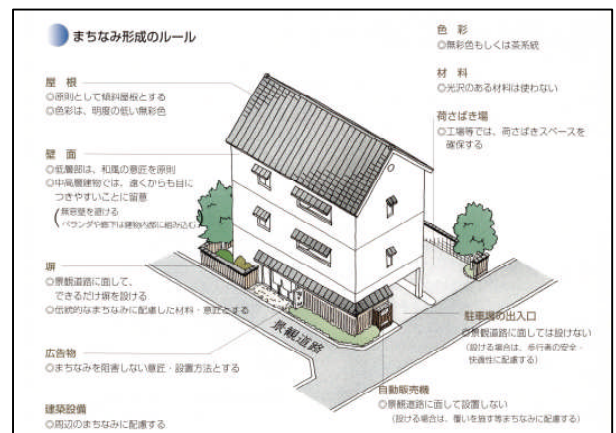
みんなで現状の良いところ、悪いところを写真に撮ってまわることから始まった検討は、2年以上の議論を経て、平成10年7月、魚崎郷地区・景観形成市民協定に結実し、同時に魚崎郷まちなみ委員会が発足します。



市民協定に沿ってデザインされたコンビニと地域住民と行政の協働で整備された広場

この協定は、建物を建てる時などには、建て方や使い方において地区固有の町並みに配慮しましょうという主旨のもので、かつての伝統的な和風の町並みを原点に据えるものの、これを短絡的に模倣するのではなく、個々が個性を発揮するなかで、町並みとしての総合的なレベルアップを図るための最低限の“規範”です。

協定に基づいて、建物の新築時等には委員会への事前相談を事業者には義務付けていますが、締結以来12年間で69件の相談を受けつけ、町並みのあり方についての議論が続けられています。



「魚崎郷地区・景観形成市民協定」の概要
一方、町並み整備のためのものづくりも進められてきました。行政とも協働して、地区を特徴づけるためのモニユメントの設置、歩道やガードレールの修景など、委員会の立案による整備です。

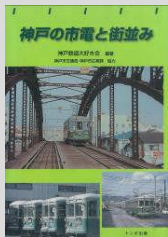
4. まちの魅力を持続させるために

このように、ルールづくりともものづくりの両面から取り組まれてきた魚崎郷の町並みづくりですが、このまちの魅力をいつまでも持続させる上で、より多くの人を巻き込んだ「町並みづくり運動」が一層広範に展開され続ける意義は、ますます大きいものとなるでしょう。

まちづくりライブラリー (図書コーナー) 図書のご案内

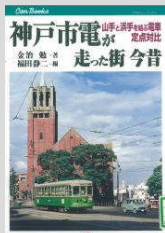
～懐かしの神戸市電特集～

こうべまちづくり会館4階のまちづくりライブラリー(図書コーナー)より、所蔵図書をご紹介します。
先日、こうべまちづくり会館で絵画立体作品展「昭和の神戸と市内電車」が開催されました。ライブラリーには、「神戸市交通局80年史」をはじめ、神戸の市街地形成に大きな影響を与えてきた神戸市電に関連した図書も取り揃えています。企画展を見逃した方も是非一度ライブラリーにお越しください。



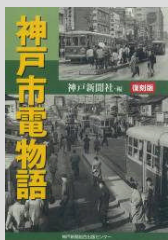
「神戸の市電と街並み」
(神戸鉄道大好き会編著・平成13年)

各停留所付近の街並みの写真が網羅され、神戸市電の車両についての詳細な解説も掲載されています。



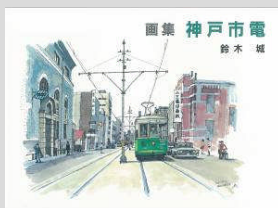
「神戸市電が走った街 今昔」
(金治勉著・平成13年)

停留所付近の写真が定対比で掲載され、街角の風景の移り変わりを見ることができます。



「神戸市電物語」
(神戸新聞社編・平成21年)

昭和46年、神戸新聞の連載記事をまとめた同書の復刻版です。市電の開業から廃止までの歴史が関係者の証言を交えてまとめられています。



「画集 神戸市電」
(鈴木城・平成7年)

先日企画展で取上げました、鈴木城氏の画集です。日本画、水彩・パステル画等多彩な作品が掲載されています。

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

| 期 間 | テーマ・内容 | 主 催 者 |
|-------------------|-----------------------|--------------|
| 12/2(木)～12/14(火) | 市民花壇コンクール入賞作品展 | (財)神戸市公園緑化協会 |
| 12/16(木)～12/27(月) | 神戸空港・ベイシャトル利用促進PRパネル展 | 神戸市みなと総局 |
| 1/6(木)～2/1(火) | 空から見た震災復興写真展 | 神戸市都市計画総局 |

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

| 期 間 | テーマ・内容 | 主 催 者 |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| 12/2(木)～12/7(火) | 彩風会作品展 <水彩> | 彩風会 |
| 12/10(金)～12/12(日) | 洋画家「亀本義光」遺作展Ⅱ <油彩> | 亀本 みの子 |
| 12/16(木)～12/21(火) | 神戸大学 美術部 <油彩・水彩等> | 神戸大学 美術部 |
| 12/23(木)～12/26(日) | 片木健一・真理子 親子展 <油彩・タペストリー> | 片木 健一 |
| 1/6(木)～1/10(月) | 「元町商店街を描く」ほか <水彩・パステル> | 井場 洋一 |
| 1/13(木)～1/18(火) | 神戸大学写真部 部展 | 神戸大学 写真部 |
| 1/21(金)～1/25(火) | 第22回 公募写真展 | (財)兵庫労働者福祉基金協会 |



こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)
場 所：元町商店街4丁目西端の南側角
地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分
神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分
「西元町」東口から東へ5分
JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分
〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14
電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546
ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)
自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談
受付：午前9時30分～午後5時30分(水曜日休館)
ただし、印刷は5時まで
電話・FAX：078-361-4565